

令和7年度 第1回防災委員長会議 次第

日 時 令和7年5月27日（火）午後6時30分～
対 象 防災委員長
会 場 焼津市消防防災センター4階 多目的ホール

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- (1) 令和7年度 自主防災会関連事業年間スケジュールについて
- (2) 令和6年度 焼津市防災訓練結果報告について
- (3) 令和7年度 焼津市総合防災訓練について
- (4) 静岡県総合防災訓練について
- (5) 焼津市原子力災害広域避難計画について
- (6) 家庭内防災対策アンケートについて
- (7) その他

4 閉 会

令和7年度 焼津市総合防災訓練関係の提出物期限

- ① **チラシ要望書**（資料3-1） … 6月23日（月）
チラシの受け渡し日時：7月11日（金）～7月18日（金）の平日のみ・午前9時～午後5時
チラシの受け渡し場所：消防防災センター1階受付（石津1丁目6-1）
- ② **実施計画書**（資料3-2） … 6月23日（月）
- ③ **結果報告書**（資料3-5） … 9月10日（水）

配布資料は、6月2日(月)に市ホームページへ掲載予定です。

<https://www.city.yaizu.lg.jp/safety/bosai/bosai-info/jishu-bosai/sogo-bosai-teishutsu.html>
へアクセスいただくか、「焼津市 総合防災訓練 提出書類」で検索してください。

令和7年度 第1回防災委員長会議 配布物一覧

	内 容	資料番号	提出期限
議 題（１）	令和7年度 自主防災会関連事業年間スケジュール	資料 1	
議 題（２）	令和6年度 焼津市防災訓練結果報告	資料2	
議 題（３）	令和7年度 焼津市総合防災訓練について(令和7年8月30日)	資料3	
	・令和7年度 焼津市総合防災訓練の実施について（依頼）		
	・令和7年度 焼津市自主防災組織活動方針		
	・令和7年度 焼津市総合防災訓練 実施計画		
	・同報無線放送スケジュール		
	・チラシ要望書	資料 3-1	6/23（月）
	A：【訓練用】「わが家の安否確認カード」	チラシ A	
	B：訓練参加証明書（児童・生徒用）	チラシ B	
	C：焼津市の防災補助制度について（家庭内対策）	チラシ C	
	D：災害時は安否確認が重要です!! ～大切な人との再会のために～	チラシ D	
	E：同報無線が聞こえないときどうする？	チラシ E	
	F：もしもの備えが命を守る！（表面） 災害時のトイレ問題は深刻です！（裏面）	チラシ F	
	D～F：チラシ（タガログ語版）	チラシ D～F （タガログ語版）	
	外国語版「わが家の安否確認カード」記入説明チラシ	チラシ G～J	
	・令和7年度 焼津市総合防災訓練 実施計画書	資料 3-2	6/23（月）
	・「わが家の安否確認カード」集計用紙【任意様式】 （組長・町内会長・基地用）	資料 3-3	
	・災害時情報記録用紙（参加者）：自主防災会本部用	資料 3-4	
	・令和7年度 焼津市総合防災訓練 結果報告書	資料 3-5	9/10（水）
議 題（４）	令和7年度 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練 焼津市の訓練内容	資料4	
議 題（５）	原子力防災のしおり「広域避難ガイドブック（保存版）」	別冊	
議 題（６）	焼津市 家庭内防災対策アンケート調査について（依頼）	チラシ K	

2025（令和 7）年度 自主防災会関連事業年間スケジュール

2025 年 4 月 1 日

No.	日程	時 間	行 事 名	会 場	対 象	概 要
1	4 月 22 日（火）	18 時 30 分 ～ 20 時 00 分	自主防災会長会議	消防防災センター 4 階	自主防災会長・自主防災会総括本部長	令和 7 年度の活動計画や訓練方針についての説明ほか
2	5 月 13 日（火）	18 時 30 分 ～ 20 時 00 分	自主防災組織補助金説明会	消防防災センター 4 階	各自主防災会補助金取り扱い担当者	令和 7 年度の自主防災組織補助金（自主防災組織育成強化事業）の説明
3	5 月 27 日（火）	18 時 30 分 ～ 20 時 00 分	第 1 回防災委員長会議	消防防災センター 4 階	防災委員長	令和 7 年度焼津市総合防災訓練についての説明ほか
4	5 月 27 日（火）～ 30 日（金）		自主防災組織補助金個別相談会	消防防災センター及び 大井川地域交流センター	希望する各自主防災会補助金 取り扱い担当者	申請手続きなど補助金制度詳細の相談会
5	6 月 8 日（日）	9 時 00 分 ～11 時 30 分	自主防救助隊訓練	消防防災センター 訓練場	自主防救助隊員	焼津市消防団による実技指導
6	6 月 15 日（日）	8 時 30 分 ～11 時 00 分	令和 7 年度焼津市総合 水防訓練	東益津地区・大井川河川敷	検討中	河川課にて計画中
7	7 月 26 日（土）	9 時 00 分 ～17 時 00 分	市民防災リーダー育成 講座	消防防災センター 4 階	各自主防災会代表者	外部講師による講演や実技等
8	8 月 30 日（土）	19 時 00 分 ～20 時 30 分	焼津市総合防災訓練	市内全域	全自主防災会	夜間避難訓練ほか
9	9 月 25 日（木）	10 時 00 分～	シェイクアウト訓練	市内全域 （主に事業所）	焼津商工会議所、事前登録団体、 事業所、市民	地震の際の安全確保行動を身につけることを 目的とし、「まず低く、頭を守り、動かない」 を実施

No.	日程	時 間	行 事 名	会 場	対 象	概 要
10	9月30日（火）	18時30分 ～ 20時00分	第2回防災委員長会議	消防防災センター4階	防災委員長	地域防災訓練等について
11	10月19日（日）	9時00分 ～12時00分	静岡県総合防災訓練	市内各訓練会場	公助機関（県、市、自衛隊、警察、消防など）、一部自主防災会	焼津市・藤枝市で実施する静岡県総合防災訓練
12	11月9日（日）	9時00分 ～11時30分	自主防救助隊訓練	消防防災センター 訓練場	自主防救助隊員	焼津市消防団による実技指導
13	12月7日（日）	8時30分 ～12時00分	焼津市地域防災訓練	市内全域	全自主防災会	総合防災訓練での経験や視察を活かし、地域の実情に合わせた避難行動や防災力向上を目指した訓練など
14	1月13日（火）	18時30分 ～ 20時00分	第3回防災委員長会議	消防防災センター4階	防災委員長	災害時初動訓練等について
15	3月7日（土）	9時30分～ 11時00分	焼津市水難救助訓練	大井川港	静岡県警察、清水海上保安部、志太消防、消防団、防災部	津波救命艇を使用した水難救助訓練
16	3月8日（日）	8時30分～ 12時00分	焼津市災害時初動訓練	市内全域	全自主防災会	津波避難行動及び災害時における初動体制の充実を目指した訓練等

【お願い】

事業日程や内容は、年度の途中で変更となる場合がありますので、ご承知おきください。

令和 6 年度 焼津市防災訓練結果報告

令和 7 年 5 月 27 日 地域防災課

1. 令和 6 年度 焼津市防災訓練結果報告

○総合防災訓練 令和 6 年 8 月 31 日（土）18：30～20：30「夜間危険度再チェック訓練」

9 月 1 日を含む一週間の「防災週間」にあわせ、8 月最終週の土日（夜間）に行う、地震・津波に備えた市内一斉の防災訓練。各自主防災会で行う。

(1) 概要

台風第 10 号の接近により中止

令和 6 年 8 月 27 日 23 時 37 分大雨警報、8 月 28 日 00 時 00 分土砂災害警戒情報が気象庁より発表されたことから、焼津市災害対策本部を立ち上げた。

8 月 28 日 06 時 35 分土砂災害警戒情報が気象庁より解除され、06 時 37 分災害対策本部を廃止したが、台風第 10 号の接近により、市民の安全確保を最優先とするため、本訓練については中止とした。

(2) 訓練中止に伴う対応

- ・ 8 月 28 日 13 時 00 分に中止決定。
- ・ 8 月 28 日 15 時 00 分ホットライン、防災メール、LINE にて周知を行った
- ・ 8 月 29 日 12 時 30 分に同報無線放送を行った。

○シェイクアウト訓練 令和 6 年 9 月 26 日 10：00～（1 分間）

地震発生の際の 3 つの安全確保行動『1. まず低く、2. 頭を守り、3. 動かない』を身につけるための地震防災訓練。2008 年にアメリカで始まり、世界各地に広がっている。

焼津市では 9 月第 4 木曜日に実施。サイレンを伴う同報無線放送をきっかけに、企業や事業所、学校を中心として行う。（市民は自由参加）



(1) 訓練結果

登録区分	登録者総数	
	団体数	人数
企業	240 団体	3,583 人
学校関係（保育園・幼稚園含む）	32 団体	11,341 人
市役所関係	73 団体	773 人
合計	345 団体	15,697 人

○地域防災訓練 令和6年12月1日（日）9：00～12：00「地域で助け合い！共助訓練」

地域防災の日である12月第1日曜日に行う、地震・津波に備えた市内一斉の防災訓練。炊き出し、避難所開設や資機材を使った訓練など、「地域での助け合い活動」を重点的に各自主防災会で行う。

（1）実施機関

市内76自主防災会

（2）参加人員

70,897人（R4年度53,992人 R5年度中止）

【参考：児童・生徒参加者数】

小学生：3,649人（R4年度4,242人）

中学生：2,175人（R4年度2,148人）

高校生：2,169人（R4年度1,445人）

（3）訓練の内容

- 1 安否確認カードを使用した情報伝達訓練
- 2 訓練実施計画に基づく各自主防災会の訓練

【自主防災会が行った訓練】

訓練内容	家庭内 事前対策	持出品 確認	資機材 点検	資機材 取扱い	AED	応急	搬送	初期 消火	テント 設営	炊出	避難所 開設
実施数	2	9	16	15	9	6	6	28	7	25	2
比率	2.7%	12%	21.3%	20%	12%	8%	8%	37.3%	9.3%	33.3%	2.7%

（4）訓練支援チームの派遣

【支援チーム内容】

支援チーム	実施機関	体制	派遣先	実施内容（概要）
地震体験車	地域防災課	1隊	3箇所	地震体験を通じた防災啓発
給水体験	上下水道部	1隊	1箇所	給水車による応急給水体験
出前講座	介護保険課・ ふるさと納税課	1隊	2箇所	能登半島地震災害派遣職員による避難所運営について講話
	建築指導課	1隊	1箇所	住宅耐震化等の啓発、補助制度案内
	消防団女性消防隊	1隊	1箇所	・新聞紙で防災スリッパを作成 ・身の回りの物で出来る応急手当の指導等

○災害時初動訓練 令和6年3月2日（日）9：00～11：30「発災直後の行動確認訓練」

東日本大震災を踏まえた県の津波対策推進旬間にあわせて行う、地震・津波に備えた市内一斉の防災訓練。各自主防災会で行う。

（1）実施機関

市内76自主防災会

（2）参加人員

70,696人（R5年度70,458人）

【参考：児童・生徒参加者数】

小学生：3,673人（R5年度3,767人）

中学生：2,151人（R5年度2,098人）

高校生：2,081人（R5年度1,897人）

（3）訓練の内容

1 安否確認カードを使用した情報伝達訓練

2 訓練実施計画に基づく各自主防災会の訓練

・焼津第5自主防災会：避難所設営訓練（段ボールベッドの作成）

・豊田第10自主防災会：避難所設営訓練

（段ボールベッド・間仕切り・テント・簡易トイレの作成）

・和田第21自主防災会：消火訓練

・小川第11自主防災会：煙体験ハウス

・港第23自主防災会：倒壊家屋訓練

・利右衛門第1自主防災会：消火訓練

・高新田第2自主防災会：避難所設営訓練（段ボールベッドの作成）

・上泉第2自主防災会：消火訓練

・上新田第1自主防災会：消火訓練

（4）その他

地震体験車（中島自主防会場）

2. 令和6年度防災訓練の意見・課題等

（1）訓練全体

- ・回覧板で訓練スケジュールを伝えていたが、内容が十分に伝わっておらず、早く避難を始める人がいた。
- ・訓練のマンネリ化。住民の中に危機感の薄れを感じる。訓練時の服装や非常持出袋の持参など、広報や啓発が必要である。
- ・訓練に参加せず安否確認が取れない団地、マンション、アパート世帯がある。
- ・役員の任期が1～2年で終わるため、継続的な防災訓練が難しい。
- ・地域住民の高齢化が進行しており、訓練参加や、避難することが困難であるため、民生委員との連携も必要である。
- ・外国語を母国語とする人たちへの周知。

（2）安否確認

- ・不在者と不明者の違い、避難場所と避難地の違いをよく理解していない。
- ・安否確認の主計者の場所がわかりにくい。（組長などが目立つようにする方法が必要。）
- ・訓練に参加せず安否確認が取れない団地やアパート世帯がある。

3. 防災訓練実施内容紹介

○炊き出し訓練



炊き出し用アルファ米（50 食）を用いた炊き出し訓練。炊き出し用のコンロやガスバーナー、炊き出し器の使用訓練と併せて、炊き出しから配布までの流れを確認できます。小中学生も参加しやすい訓練です。

写真に写っているアルファ米は、市が備蓄しているアルファ米の内、賞味期限が1年以内となったものを、希望する自主防災会に毎年配布しています。

○資機材展示・点検など



簡易トイレや発電機、チェーンソー、可搬ポンプなどの資機材を、展示し市民に紹介する試みです。

災害時に使うものや倉庫について、地域で情報共有すると同時に、一緒に運転点検などを行うことで、使える人を増やすことができます。大人から子どもまで、「こんなふうに備えてくれているなんて、知らなかった！」という声が聞こえてくる訓練です。

なお、展示のために市の資機材を貸し出すことも可能です。

○非常持出品等の家庭内対策の啓発



上小杉地区で、家庭用の非常持出品をはじめとした備えの啓発のために作成されたボードです。

訓練で地域の方が集まるタイミングで、家庭内対策としての備蓄や家具固定、通電火災予防を呼びかけていただくと、地域全体の自助力の向上が見込めます。

○避難所運営訓練



段ボールベッドや段ボール間仕切り、簡易テントなどを、避難所となる施設に展開し、避難所運営のイメージを共有することができる訓練です。また、避難所の受付場所・ペットスペースなどのレイアウトを考え、実際に作ることで、今後の備えや事前のルール作りに役立てることができます。

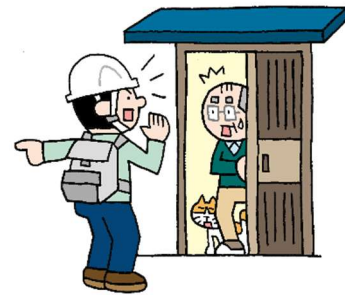
4. 市内自主防災会それぞれの取り組み

○大富第 19 自主防災会 『向こう三軒両隣グループ』

町内会や組によっては、世帯数が多く、町内会長・組長からの情報伝達や、各世帯からの情報伝達が難しい地域もあるかと思います。大富第 19 自主防災会では、日頃から近隣数軒のグループを作り、防災活動の最小単位を「向こう三軒両隣グループ」としています。

そうすることで、災害時には「向こう三軒両隣グループ」内で声かけや安否確認をして、組長に状況報告⇒町内会長へ状況報告……とスムーズな助け合いや情報伝達につなげようという試みです。

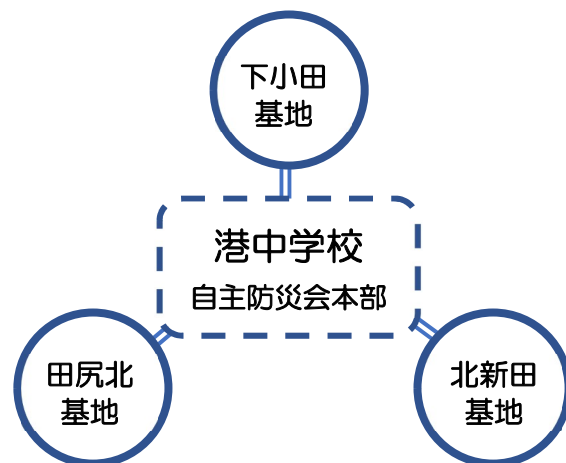
また、グループ内のリーダーとなる世帯を毎年輪番制とすることで、数年に 1 回は防災に関わることとなり、地域防災力を強化しています。



○港第 23 自主防災会 『サテライト基地』

自主防災会内に、津波浸水区域と津波浸水区域外の両方がある港第 23 自主防災会。自主防災会本部となる港中学校も、津波浸水区域と想定されていることから、災害時には各地区でサテライト基地という拠点を持ち、それぞれで防災活動ができる体制作りをしています。

また、災害時に自主防災会内でスムーズに情報共有・相互理解ができるようにと、地区ごと ZOOM に参加できる PC と通信環境を整備しています。



5. 全国的な取り組み

○防災に女性の視点を入れる『女性防災委員』



自主防災会の役員というと男性が多くなりがちですが、過去の被災地の状況から、「防災に女性の視点を」という声が高まっています。

女性が防災組織の一員となることで、女性からの困りごとなどの相談役や、男性だけでは判断の難しい災害時の女性用品の備蓄・配布などが円滑になり、地域の女性の安心感が高まるだけでなく、男性役員の負担軽減にもつながります。

様々な視点を取り入れることによって、市民にとっても組織にとっても心強い体制を作ることができます。



内閣府資料パンフレット【女性が力を発揮するこれからの地域防災】

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/knowhow/index.html>

焼 18 - 号
令和 7 年 5 月 27 日

自主防災会長
総括本部長 各位

焼津市長 中野 弘道
(防災部地域防災課)

令和 7 年度 焼津市総合防災訓練の実施について（依頼）

平素より当市の防災行政につきましては、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当市では、各家庭における自助の推進や自主防災会による地域防災体制の強化を目的として、「令和 7 年度焼津市総合防災訓練実施計画」を定め、5 月 27 日（木）に開催しました、第 1 回防災委員長会議にて別添資料のとおり訓練の実施について、ご依頼をさせていただきました。

つきましては、訓練の実施をお願いするとともに、訓練内容の把握や検証のため、下記のとおりご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和 7 年 8 月 30 日（土）「夜間危険度再チェック訓練」
- 2 場 所 市内全域各地域
- 3 依頼内容
 - ◎ 焼津市災害対策本部との情報伝達・収集訓練
情報伝達・収集を目的に派遣する自主防協力班員を通じて、避難者（参加者）等の報告をお願いします。
 - ① 「わが家の安否確認カード」を活用した避難者・行方不明者数（訓練参加者・不参加者数）の確認
 - ② 自主防災会活動内容（訓練内容）
- 4 実施計画書及び結果報告書の提出について
 - ① 焼津市総合防災訓練実施計画書 令和 7 年 6 月 23 日（月）まで
 - ② 焼津市総合防災訓練結果報告書 令和 7 年 9 月 10 日（水）まで
- 5 そ の 他
 - 夜間の避難訓練であるため、安全対策を取り、交通事故には十分注意をして実施をお願いします。
 - 自主防災会役員の皆様には、実災害を想定した複数の避難経路を考え、事前に避難経路の確認を行い、参加者に周知をして訓練計画を立案してくださるようお願いします。
 - 各自主防災会で編成されている避難誘導班に対しての役割の確認をお願いします。
 - 児童・生徒に訓練の参加を得られるよう、「令和 7 焼津市総合防災訓練参加証明書」の配布も併せてお願いいたします。

問合先：防災部 地域防災課 防災対策担当 島田
電話：623-2554 Fax：625-0132 Mail：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

おうちで

令和7年度 焼津市自主防災組織活動指針

『もっと備蓄、もっと家具固定・耐震化』

～南海トラフ巨大地震に備え、防災意識を高めよう～

- 命を守り、素早い避難を可能にする家具固定や耐震化とあわせ、食料や水、トイレなどの備蓄を強化して、発災後も自宅生活を可能にしましょう
- 地域での声掛けを通じ、互いに助け合う「つながり」を作りましょう。

訓練スケジュール

防災会長会議 令和7年4月22日（火）18：30～
防災委員長会議 令和7年5月27日（火）18：30～

総合防災訓練

夏・夜 「夜間危険度再チェック訓練」

R7
8/30
(土)
19:00
～20:30

- 夜間における発災を想定し、避難経路と危険箇所の確認・安否確認を中心とした訓練を展開する。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した安否確認活動をお願いします。
- 家庭内対策の強化に関する呼びかけをお願いします。

9/25(木) 平日・昼 シェイクアウト訓練 ※事業所中心の訓練です。
可能な限りご協力お願いいたします。

10/19(日) 令和7年度静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練

防災委員長会議 令和7年9月30日（火）18：30～

地域防災訓練

冬・休日 「地域みんなで助け合い訓練」

R7
12/7
(日)
午前

- 避難所の開設や炊き出し、資機材を使った訓練など、地域での助け合い活動を重点的にお願いします。
- 市は訓練支援隊を編制し、地域の訓練を支援します。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した安否確認活動をお願いします。
- 家庭内対策の強化に関する呼びかけをお願いします。

防災委員長会議 令和8年1月13日（火）18：30～

災害時初動訓練

春・津波対策 「地域みんなで助け合い訓練」

R8
3/8
(日)
午前

- 沿岸部を中心に津波避難行動を実施。沿岸部は津波避難行動、その他の地区は発災直後の初動対応をお願いします。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した安否確認活動をお願いします。
- 新年度役員の皆様にも訓練の企画参加を呼びかけてくださると幸いです。
- 家庭内対策の強化に関する呼びかけをお願いします。

令和7年度 焼津市総合防災訓練 実施計画

焼津市 防災部 地域防災課

1 目 的

夜間における発災を想定し、住民の避難行動及び、自主防災会による安否確認や情報伝達が的確かつ迅速にできるかを主たる目的として実施する。

また、昼間とは異なる環境で実施することで、自主防災会においては、不足している資機材や危険箇所の確認、注意すべき事項などの課題の発見などの機会とし、各家庭においては、「わが家の安否確認カード」の記入と家庭内備蓄・非常持出品、避難経路の道順や経路時間などの確認を行う。

2 実施対象地域

市内全域

3 日 時

《夜間危険度再チェック訓練》

◎令和7年8月30日（土）19時00分開始。20時30分終了。

※訓練開始前（17時00分）に同報無線による事前広報放送を行う。

※訓練開始時（19時00分）に同報無線による地震発生合図の放送を行う。

※訓練終了時（20時30分）に同報無線による訓練終了の放送を行う。

4 想 定

夜間に突然、大規模な地震（南海トラフ地震等）が発生し、市内全域で最大震度6強を観測した。

沿岸部では、大津波警報が発表され、その後に津波が襲来し、山間部ではがけ崩れが発生した。

また、この地震により、ライフライン（電気・ガス・水道・電話）は寸断、道路の建物倒壊や火災、津波浸水、土砂災害等の被害が発生した。

5 訓練内容

・訓練前日までに、各家庭で7日分の備蓄、非常持出品や避難経路・避難場所について確認する。

・地震発災後、自宅から指定（緊急）避難場所までの経路時間を各自で計測する。

《市民》

- ① 無線による地震発生の場合を受け、自身の安全を確保する。
- ② 安全を確保後、火の元などを確認し、懐中電灯等、夜間避難に対応した非常持出品及び「わが家の安否確認カード」を持って、指定（緊急）避難場所へ避難する。
- ③ 警報解除後、安否確認場所へ移動する。

※避難場所及び安否確認場所への避難経路の夜間における状況確認

《自主防災会》（上記に加えて、以下の訓練を実施する）

- ④ 安否確認場所にて、自主防災会役員は避難者数を確認、集計し、自主防災会本部へ報告する。（安否確認訓練）
- ⑤ 自主防災会本部は、避難者数全体を集計し、自主防協力班員とともに、焼津市災害対策本部へ報告する。（情報伝達訓練）
- ⑥ その他、任意で実施する訓練

6 訓練の中止決定及び連絡について

(1) 異常気象等に対しては、市民の安全確保を最優先として適切な状況判断により対応するが、以下の状況が発生した場合は、原則として中止する。

ア 「南海トラフ地震臨時情報」※（調査中・巨大地震警戒・巨大地震注意）が発表された場合

※南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合に気象庁から発表される情報です。

イ 市内に震度 4 以上の地震が発生した場合及び県内に震度 5 弱以上の地震が発生した場合

ウ 東南海、南海地域に被害をもたらす大規模な地震が発生した場合

エ 津波注意報及び気象警報（大雨、洪水、暴風、高潮）が発表された場合

オ 雷注意報の発表かつ雷鳴など落雷兆候がみられた場合

カ 市民の健康及び財産の被害が予想されると判断される場合

キ その他社会的に中止が必要と判断される場合

(2) 中止決定日時

原則、令和 7 年 8 月 30 日（土）17 時 00 分までに決定する。

また、上記「6（1）ア～カ」が突発的に生じた場合は、その都度決定する。

(3) 中止連絡方法

同報無線「広報やいづ」で放送する。併せて、同報無線内容を「やいづ防災メール」で配信する。

また、各自主防災会代表者に対してメールを配信しますので、各自主防災会による連絡網などを通して周知および、伝達できる体制作りをお願いします。

(4) その他

上記（1）の訓練中止ア～キ以外に、各自主防災会において独自で訓練を中止する判断基準を設けていただいても構いません。

(例)

・大雨警報が発表されていなくても、雨が降っていれば中止とする。など

※自主防災会独自の判断で中止する場合は、地域防災課（623-2554）まで、ご一報ください。

問合先 焼津市 防災部 地域防災課 防災対策担当

TEL：623-2554 / FAX：625-0132

メール：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和7年度 焼津市総合防災訓練 ～夜間危険度再チェック訓練～ 同報無線放送スケジュール

令和7年8月30日（土）

17:00 事前広報放送

『こちらは広報やいづです。』『地域防災課からのお知らせです。』
『今日は、総合防災訓練の日です。』
『午後7時に、サイレンを伴う訓練放送を行います。』
『訓練放送に合わせて、頭を守るなどの安全確保行動を実施しましょう。』
『皆様のご理解とご協力をお願いします。』

19:00 大規模地震発生

『こちらは広報やいづです。』
『訓練、訓練、これは訓練放送です。』
『サイレン（揺れ時間1分間）』
『ただいま、大規模な地震が発生しました。』
『落ち着いて安全確保行動をしてください。』

★シェイクアウト(3つの安全確保行動)
「まず低く、頭を守り、動かない」を行ってください。

19:05 気象庁による大津波警報発表

『こちらは、広報やいづです。』
『訓練、訓練、これは訓練放送です。』
『サイレン（3秒 2秒休止×3回）』
『訓練、訓練、大津波警報が発表されました。』
『至急、避難してください。』

×2回

★地域で決められている
「指定(緊急)避難場所」へ避難してください。

19:30 津波警報解除

『こちらは、広報やいづです。』
『訓練、訓練、これは訓練放送です。』
『こちらは訓練災害対策本部です。』
『訓練、訓練、今まで発表されていた大津波警報は、解除されました。』
『地域の自主防災会の指示に従って落ち着いて行動してください。』

×2回

★地域で決められている
「安否確認場所」へ避難してください。

20:30 訓練終了放送

『こちらは広報やいづです。』
『夜間訓練へのご参加、ありがとうございました。』
『以上をもちまして訓練放送を終了します。』
『ご協力ありがとうございました。』

令和 7 年度 焼津市総合防災訓練 ～夜間危険度再チェック訓練～
同報無線放送スケジュール

訓練中止放送

8 月 29 日（金）に訓練中止が決定した場合

『こちらは広報やいづです。』
『地域防災課からのお知らせです。』
『明日、8 月 30 日に予定しておりました「焼津市総合防災訓練」は
〇〇〇〇により中止します。』
『日頃から、地震・津波に備え、各ご家庭で事前に避難所・避難場所の確認、
非常持出品、備蓄品の準備をお願いします。』

} × 2 回

8 月 30（土）に訓練中止が決定した場合

『こちらは広報やいづです。』
『地域防災課からのお知らせです。』
『本日予定しておりました焼津市総合防災訓練は、〇〇〇〇により中止します。』

} × 2 回



提出期日 令和 7 年 6 月 23 日 (月) (必着)

FAX : 625-0132 メール : tiikibousai@city.yaizu.lg.jpインターネット : <https://logoform.jp/form/tWbQ/1041826>

令和 7 年度 焼津市総合防災訓練

チラシ要望書

第 _____ 自主防災会			
担当氏名 :		電話 :	
配布チラシの種類			要望数
A: 【訓練用】「わが家の安否確認カード」			枚
B: 訓練参加証明書 (児童・生徒用)			人分
C: 焼津市の防災補助制度について (家庭内対策)			枚
D: 災害時は安否確認が重要です!!			枚
E: 同報無線が聞こえないときどうする?			枚
F: もしもの備えが命を守る: 備蓄・トイレ			枚
その他:			枚
D~F のチラシ タガログ語版	D: _____ 枚	E: _____ 枚	F: _____ 枚
外国語版「わが家の安否確認カード」記入説明チラシ			
G: ポルトガル語	H: タガログ語	I: 英語	J: ベトナム語
_____ 枚	_____ 枚	_____ 枚	_____ 枚
K: 家庭内防災対策アンケート チラシ			枚
L: 家庭内防災対策アンケート 質問用紙			枚
※「わが家の安否確認カード」保存版が必要な場合は、地域防災課まで ご相談をお願いします。			
受け渡し場所: 消防防災センター 1F 受付 (焼津市石津 1-6-1)			
受け渡し期間: 7 月 11 日 (金) ~ 7 月 18 日 (金) 9:00 ~ 17:00 (土日祝除く)			

【訓練用】『わが家の安否確認カード』

(令和6年4月作成)

●「わが家の安否確認カード」とは？

大規模地震発生時は、まず、身の安全を確保します。そして強い揺れが収まりましたら、あらかじめ決めた避難場所へ避難します。その後、大津波警報が解除されるなど、安全が確認された時点で、各地域（自治会・町内会）で決められた安否確認場所へ行きます。

その際、安否確認場所で混雑と密を回避し、迅速な安否確認を行うため、「わが家の安否確認カード」を使用してください。

●どこに保管しますか？

「非常用持出し袋」に入れておくなど、避難の際に持ち出せるようにして、災害時に使用してください。

●何を書くか？

家族の安否情報を確認して、「わが家の安否確認カード」へ記入をしてください。

●どこへ出すのか？

各地域の「安否確認場所」にて「自治会・町内会役員」へ提出してください。

●このカードの利用方法は？

災害時に、まずは、この情報を「安否不明者」の搜索活動に役立たせていただきます。

わが家の安否確認カード (訓練用)	自治会 (_____ 区) _____ 町内会 _____ 組				役員 使用欄
	氏 名 (※提出者)		連絡先 (※提出者)		※訓練時は記載不要です
	家族・世帯の総人数 人	安 否 確 認 で き た 人	大人	人	
			高校生	人	
			中学生	人	
			小学生	人	
	未就学児		人		
	安否不明の家族 ※下段に詳細を記入してください。				
	自宅の状態 / <input type="checkbox"/> 居住可能 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 全壊				
	安否不明の家族について				※安否不明者がいる場合に記載をしてください。
名	前	性別	年齢	その他伝えたい情報	
※訓練時は記載不要です			歳		
			歳		
			歳		
			歳		
			歳		

裏面に記入例があります。

「わが家の安否確認カード」は、災害時の迅速な安否確認に活用します。

例) ★防災一家（4 人家族）の場合

情報① 自宅に居て安否確認がとれている【安否確認ができた家族：3 人】

●大人（防災太郎）▲中学生（防災はじめ）△小学生（防災次郎）

※「安否確認できた人」に人数を記入する。

情報② スーパーに買い物へ行ったまま安否確認が取れない【安否不明家族：1 人】

○大人（防災花子 女性 45 歳）

※「安否不明の家族」の欄に数字を記入し、下の「安否不明の家族について」の欄に検索等に必要な情報を記入する。

【その他補足】

・家族が仕事や学校・習い事などで自宅に居ない場合でも、提出者が安否の確認ができていれば、「安否確認できた人」の欄に、安否確認ができない場合は「安否不明の家族」欄に記入する。

記入例

※事前に自分の住んでいる自治会（区）・町内会・組や家族・世帯の総人数などは記入しておきましょう！

わが家の 安否確認 カード	焼津第○自治会（△区）第□町内会 ×組				役員 使用欄
	氏 名 防災太郎 (※提出者)			連絡先 (※提出者) □□□-□□□□-□□□□	
	家族・世帯の総人数	4 人	安 否 確 認 で き た 人	大人	1 人
				高校生	人
	安否不明の家族 ※下段に詳細を記入してください。	1 人		中学生	1 人
				小学生	1 人
				未就学児	人
	自宅の状態／□ 居住可能 □ 半壊 □ 全壊				
	安否不明の家族について			※安否不明者がいる場合に記載をしてください。	
	名 前	性別	年齢	その他伝えたい情報	
防災花子	女	45 歳	・ 自転車で買い物に出かけて 連絡が取れない。		
		歳	・ 普段は健康		
		歳	・ 携帯電話を持っている。		
		歳			
		歳			

◇「わが家の安否確認カード」を使い切った、もしくは紛失したときは、自治会・町内会役員か地域防災課までお問い合わせください。 【問合せ先：焼津市地域防災課 ☎054-623-2554】

◎詳しくは、焼津市ホームページ（HP）をご確認ください。

「わが家の安否確認カード」について（市HP）：<https://www.city.yaizu.lg.jp/g01-007/documents/8.pdf> ▶





令和7年度 焼津市総合防災訓練参加証明書

令和7年8月30日（土）に実施した総合防災訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

感じたこと： _____

令和7年8月30日

第 自主防災会



令和7年度 焼津市総合防災訓練参加証明書

令和7年8月30日（土）に実施した総合防災訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

感じたこと： _____

令和7年8月30日

第 自主防災会



令和7年度 焼津市総合防災訓練参加証明書

令和7年8月30日（土）に実施した総合防災訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

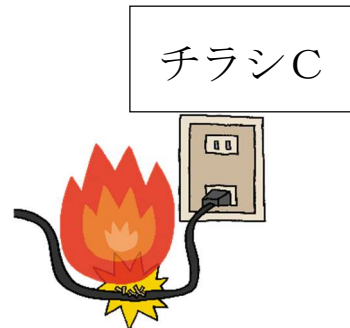
感じたこと： _____

令和7年8月30日

第 自主防災会



お部屋の地震対策で 家具や火事から 命を守る！



焼津市の補助制度を活用して自宅の地震対策を徹底しましょう！

補助制度その1

家具転倒防止器具等購入費補助金

～自分でできるカンタン対策で安心度 UP～

補助内容：家具転倒防止器具や、ガラスの飛散防止フィルム等を購入した世帯、もしくは工事等を委託した世帯に対して、予算の範囲内において補助金を交付します。

補助上限：購入額・工事額の3分の2（上限2万円）

対象者：焼津市内に家を持つ又は居住する世帯
（過去に同種の補助金又は、「家具等転倒・落下防止器具取付サービス事業」を利用した世帯を除く）

申請期限：令和8年2月20日（金）※先着順・予定枠に達し次第終了します。



《対象器具参考例》

- ・ つっぱり棒、転倒防止金具、転倒防止ジェル
- ・ ガラスの飛散防止フィルム
- ・ 感震ブレーカー

（一般財団法人日本消防設備安全センターが認証するもので、電気工事が不要な簡易タイプ）



▲市HP



補助制度その2

感震ブレーカー等設置推進事業

～地震後の火災から家を守る～

補助内容：業者に依頼して感震ブレーカー（電気工事が必要な分電盤タイプ）を設置する世帯に対して、予算の範囲内において補助金を交付します。

補助上限：感震ブレーカーを設置する費用の3分の2（上限2万円）

対象者：焼津市内に家を持つ又は居住する世帯
（過去にこのサービスを使った世帯を除く）

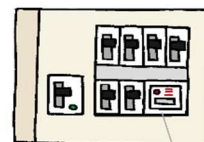
申請期限：令和8年1月16日（金）※先着順・予定枠に達し次第終了

《感震ブレーカーとは》

震度5強以上の地震を感知すると、分電盤のブレーカーを強制遮断して電源を止める装置です。これをつけることで、「通電火災」を予防できます。



▲市HP



★詳細は地域防災課（054-623-2554）までお問い合わせください。

★申請書配布：消防防災センター、各地域交流センター、焼津市役所 2F 受付、大井川市民サービスセンター